




創造

 Distinguished School

関西大学初等部

Think × Act × Creation 2019

2019年12月12日(木) 受付12:00-

キーワードは... 「思考力 × 創造性」

本校初のICT活用公開研修会。One-to-One環境, プログラミング, STEAM教育。
「未来の教室」実現に向けて今, 準備すべきことは? 公開授業, ワークショップ
などを通して, テクノロジーを活用した創造的な授業について考えます。

11月11日(月)本校HPにて受付開始!

※12月6日を締め切りと致します。定員200名。締め切り前に定員に達した場合, 締切日前でも申し込みを締め切らせていただきます。



<http://www.kansai-u.ac.jp/elementary/>

アクセス

JR 高槻駅から徒歩8分
阪急 高槻市駅から徒歩10分



受付	Opening	移動	公開授業 ①	休憩	公開授業 ②	移動	Session Workshop	休憩	講演 浅野 大介 氏	Closing
----	---------	----	-----------	----	-----------	----	---------------------	----	---------------	---------

公開授業① 13:15-14:00

授業者	学年	テーマ
堀 力斗	1年 生活	プログラミング –シーケンス– Code Spark
金本 竜一	2年 国語	おにごっこルールブックを作ろう
Michael Cafuta	2年 英語	Sphero ✕ Phonics
東口 貴彰	3年 総合	高つき市のみりよくを伝えるアプリケーションをデザインしてみよう
松本 京子	3年 国語	読書CMをつくらう

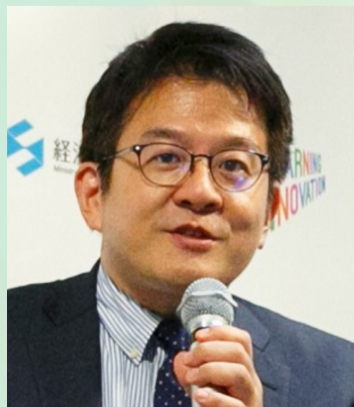
公開授業② 14:10-14:55

授業者	学年	テーマ
小森 康裕	4年 総合	プログラミング –バグとデバグ– Swift Playgrounds
Steven Wong	5年 英語	ARで絵本を創ろう
今田 雅彦	6年 総合	自分たちのこれまでの学びを紹介しよう ～卒業に向けて～
孕石 康孝	6年 理科	水溶液の性質

使用できるiPadの台数の都合上、C、D、Eのワークショップはそれぞれ30名程度（合わせて100名）を定員とさせていただきます。ご自分のiPadでご参加いただくことも可能です。

Session & Workshop 15:05-15:55

	テーマ	概要
A	One-to-One環境の整備と実際一子どもたちの思考と創造性を伸ばすためにー	iPad一人一台のICT環境を始めていくため、そしてさらに充実させていくために必要なものはなにか、またその環境を活かしてどのような授業を組み立てていくのかについて実践の共有とディスカッションを行います。 Guest Talker：同志社中学校 反田 任先生
B	Apple Booksの活用	これまで、どのような考えのもとにApple Booksを作成し、活用してきたか、理科と社会科の実践を元に、これまで作成してきたBookを提示しながらお話しします。
C	Clips, GarageBandを使った創造的な表現 Everyone Can Create	使うアプリはClips, iMovie, GarageBand。6年生が卒業前の思いを映像や音楽で表現する活動を想定しています。子どもたちが楽しみながら創造的な表現をするカリキュラムを、いっしょに考え、実際に体験してみませんか。
D	ARで紹介しよう Everyone Can Create Everyone Can Code	地図上で、観光名所の説明をARで立ち上げましょう。ARMakerというアプリを使って、その場所のイメージファイルを取り込み、AR化する方法を学びます。時間があれば、Sphero Boltを動かすワークショップも行います。
E	アプリケーションデザイン Everyone Can Code	自分が思い描くアプリケーションのアイデアはあっても、コーディングをするのはハードルが高い・・・そんなときKeynoteを使えば簡単に楽しくアプリのデザインをすることができます。みなさんもKeynoteを使って楽しくオリジナルアプリを作ってみませんか。ワークショップの最後には、実際に App Storeリリースされたアプリの紹介もします。



講演 16:10-17:10

経済産業省
商務・サービスグループ
サービス政策課長（兼）

浅野 大介氏

演題

「未来の教室」に向けて
～第4次産業革命を生かす学び、そんな時代を生きるための学び～